

2020年9月8日

報道関係各位

株式会社OKB総研

「OKB景況指数」2020年9月期調査報告

OKBグループのシンクタンク(株)OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 五藤 義徳)は、3ヵ月ごとに景況調査を行い「OKB景況指数」を公表しております。このたび、2020年9月期調査報告を取りまとめいたしましたのでご案内します。

調査結果要旨

景況の水準	厳しい景況感が継続。緊急事態宣言中に実施し、リーマンショック以来の低水準となった6月期調査に比し、経済活動の再開による持ち直しの動きは見られたものの、新型コロナウイルス感染拡大が続く中、本格的な活動再開からは遠く、限定的なものとなった。
景況の方向	大きな落ち込みからの持ち直しはあったものの、新型コロナウイルスの収束時期が見えない中、先行き不透明感は強く、弱気な見通しが広がっている。
新型コロナの影響	新型コロナウイルスによる地域経済への影響は、3ヵ月前に比べやや弱まったものの依然として深刻。 また、こうした地域経済への影響は翌年以降も続くとする声は9割超となっており、経済活動の正常化には時間がかかる見通し。

OKB景況指数とは・・・

OKB大垣共立銀行の支店長を対象に3ヵ月ごとに調査を実施

東海3県にある**OKB大垣共立銀行の支店長を調査対象**としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を総合的に捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。

県域より狭い地域の景況の水準と方向を集計

「名古屋」、「西三河」、「西濃」など、**県域より狭い地域の景況水準を表す指標**を公表している。

(注) 東海3県の当該県域全体を対象としていない(OKB大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象)。

資料配布場所：名古屋金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 中澤・後藤 TEL:0584-74-2631 FAX:0584-47-7882】

OKB景況指数（2020年9月期調査報告）

調査概要

- (1) 調査対象 東海3県にあるOKB大垣共立銀行の法人取引のある115支店の支店長
- (2) 調査内容 調査時点の景気水準および3ヵ月後の景気の方向
- (3) 調査方法 2020年8月中旬に調査票を配付し、8月末までに回収

調査結果

景気的水準： 厳しい景況感が継続。経済活動の再開により持ち直しの動きは見られたが、感染拡大が続く中、本格的な活動再開からは遠く、限定的なものとなった。

景気の方向： 自動車生産の回復により「西三河」地域のみ「良化」超となったものの、新型コロナの収束時期が見えず、厳しい経済状態が続く見通しが依然として多い。

	景気的水準(2020年9月期)	景気の方向(3ヵ月後見通し)
全地域	<ul style="list-style-type: none"> ・景気全般は▲71.4（前回比+12.8）と、リーマンショック後の水準まで落ち込んだ前回調査から上昇したものの、持ち直しの動きは限定的であり、厳しい景況感が継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ・▲28.3と「悪化」超
	<p>(支店長コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品製造業について、自動車メーカーの生産回復を受け、受注回復傾向（昨年比 70～80%）の企業がある一方、人員に見合う受注が確保できていない企業も多い。工作機械製造業は受注回復には至らず、今後の見込みも立っていない。 ・スーパー、ドラッグストアなど巣ごもり商材を扱う業態は堅調であるが、消費者の外出自粛は続いており、飲食、観光関連を中心に消費全般は低迷している。 	
県別	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県▲72.3（前回比+11.5）、岐阜県▲70.4（前回比+14.2）と持ち直しの動きが見られたものの、依然厳しい状況。 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県は▲14.9と「悪化」超 ・岐阜県は▲40.8と「悪化」超
	<p>(支店長コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県では、自動車関連製造業が4～5月頃の極端な落ち込みから回復しているものの、前年水準までは至っていない。 ・岐阜県では、建設業における新型コロナの影響は足元では小さいが、秋口以降から受注減が見込まれている。 	
地域別	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての地域で持ち直しの動きは見られたものの、依然として厳しい状況が続いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「良化」超 西三河 ・「悪化」超 名古屋、東尾張、西尾張、岐阜、西濃、東濃・可茂、飛騨・郡上
	<p>(支店長コメント)</p> <p>【西三河地域】 主要産業である自動車関連において、4～6月は前年比6割程度減産したようだが、7月で底打ち反転した感がある。これを受けて、年末にかけて9割程度まで回復すると予想する企業が増えてきた。</p> <p>【岐阜地域】 飲食業、レジャー業では徐々に回復しつつあった客足が、新型コロナ第二波の到来に伴い再び落ち込み傾向にある。</p>	
項目別	<ul style="list-style-type: none"> ・「全地域」を項目別に見ると、「個人消費」、「生産活動」、「企業収益」は上昇するもV字回復からは遠く、「設備投資」はやや低下するなど、依然厳しい状況。 ・「資金需要」は+44.4（前回比▲28.8）と落ち着きが見られたものの、引き続き運転資金確保の動きがある。 ・「雇用」は▲23.6（前回比+6.3）と「過剰」超が続く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「増加」超 該当なし ・「減少」超 「個人消費」、「生産活動」、「設備投資」、「企業収益」、「資金需要」 ・「過剰」超 「雇用」
	<p>(支店長コメント)</p> <p>「個人消費」： 飲食業等では緊急事態宣言時と比べれば一定の回復が見られるが、元の水準まで戻っておらず、全体で見ると前年比マイナスの状態となっている。</p> <p>「生産活動」： 製造業については、工作機械、自動車部品、自動車試作品が低調に推移している。</p> <p>「設備投資」： コロナ禍の影響を見極めることが困難な状況下では、設備投資需要の回復は見込めない。投資計画を延期した企業もある。</p> <p>「企業収益」： 新型コロナ発生以降は各業種とも売り上げは減少しており、減益もしくは赤字での決算着地はやむを得ないとの声を聞く。</p> <p>「雇用」： 新型コロナ拡大の影響で休業日数を増やす企業が増えており、非正規労働者を中心とした雇用調整が増加している。</p>	

*（支店長コメント）は、該当エリア・項目の調査結果（水準・方向）と関連したコメントを掲載しています。

■指数および算出方法について

- ①「景気の水準」・・・調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。
 ②「景気の方角」・・・景気の「水準」に対して、景気の「方向」を示す指数。

各指数は、最高点が100、最低点が▲100となる。①「景気の水準」を表す「景気全般」の場合、右記の表の通り、各項目の回答にポイント进行付与。支店の規模によるウエイト調整を行った上で、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100を乗じて算出する。

地域の景気水準を表す「景気全般」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表1 OKB景況指数「景気の水準」(2020年9月期)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	今期水準(前回は)	今期水準(前回は)	今期水準(前回は)	今期水準(前回は)	今期水準(前回は)	今期水準(前回は)	今期水準(前回は)
名古屋	▲69.4 (+11.1) ↑	▲61.1 (+19.4) ↑	▲47.2 (+19.4) ↑	▲69.4 (0.0) ⇐	▲58.3 (+5.6) ↑	55.6 (▲27.8) ↓	▲30.6 (▲2.8) ↓
東尾張	▲81.5 (+5.6) ↑	▲59.3 (+16.7) ↑	▲64.8 (+11.1) ↑	▲55.6 (+24.1) ↑	▲85.2 (+5.6) ↑	50.0 (▲25.9) ↓	▲22.2 (+14.8) ↑
西尾張	▲75.0 (+13.9) ↑	▲59.4 (+20.0) ↑	▲78.1 (+3.1) ↑	▲81.3 (▲15.6) ↓	▲68.8 (0.0) ⇐	34.4 (▲21.9) ↓	▲25.0 (+3.1) ↑
西三河	▲50.0 (+12.5) ↑	▲25.0 (+50.0) ↑	▲75.0 (▲12.5) ↓	▲87.5 (▲25.0) ↓	▲75.0 (0.0) ⇐	50.0 (▲25.0) ↓	▲25.0 (+25.0) ↑
東三河	▲60.0 (+40.0) ↑	▲10.0 (+90.0) ↑	▲20.0 (+30.0) ↑	▲20.0 (+46.7) ↑	▲60.0 (+40.0) ↑	20.0 (▲63.3) ↓	▲40.0 (▲23.3) ↓
岐阜	▲73.3 (+12.7) ↑	▲54.4 (+18.8) ↑	▲68.9 (+5.5) ↑	▲67.8 (▲3.8) ↓	▲73.3 (+3.4) ↑	40.0 (▲29.8) ↓	▲18.9 (+16.0) ↑
西濃	▲72.4 (+10.9) ↑	▲65.5 (+6.7) ↑	▲55.2 (+17.0) ↑	▲67.2 (▲11.7) ↓	▲69.0 (▲0.4) ↓	41.4 (▲47.5) ↓	▲15.5 (+8.6) ↑
東濃・可茂	▲61.1 (+22.2) ↑	▲44.4 (+11.1) ↑	▲61.1 (+11.1) ↑	▲72.2 (▲11.1) ↓	▲61.1 (▲5.6) ↓	50.0 (▲16.7) ↓	▲50.0 (▲33.3) ↓
飛騨・郡上	▲66.7 (+16.7) ↑	▲66.7 (+33.3) ↑	▲66.7 (+16.7) ↑	▲66.7 (0.0) ⇐	▲50.0 (0.0) ⇐	66.7 (0.0) ⇐	16.7 (+66.7) ↑
桑名・四日市	▲75.0 (+8.3) ↑	▲37.5 (+12.5) ↑	▲50.0 (+33.3) ↑	▲75.0 (+8.3) ↑	▲75.0 (▲8.3) ↓	37.5 (▲12.5) ↓	▲25.0 (▲25.0) ↓
愛知県(5地域)	▲72.3 (+11.5) ↑	▲52.7 (+26.1) ↑	▲61.5 (+10.7) ↑	▲65.5 (+6.0) ↑	▲72.3 (+5.5) ↑	45.9 (▲27.7) ↓	▲26.4 (+7.0) ↑
岐阜県(4地域)	▲70.4 (+14.2) ↑	▲56.6 (+14.6) ↑	▲63.3 (+10.7) ↑	▲68.4 (▲7.2) ↓	▲68.4 (+0.2) ↑	43.9 (▲30.6) ↓	▲21.4 (+7.8) ↑
三重(1地域)	▲75.0 (+8.3) ↑	▲37.5 (+12.5) ↑	▲50.0 (+33.3) ↑	▲75.0 (+8.3) ↑	▲75.0 (▲8.3) ↓	37.5 (▲12.5) ↓	▲25.0 (▲25.0) ↓
全地域	▲71.4 (+12.8) ↑	▲54.2 (+19.5) ↑	▲61.9 (+11.6) ↑	▲67.5 (▲1.2) ↓	▲70.3 (+2.1) ↑	44.4 (▲28.8) ↓	▲23.6 (+6.3) ↑

(*) 1) 各項目の「今期水準」は5つの選択肢にそれぞれポイント进行付与して算出。

例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に0ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲1ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。

各回答に付与したポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

(*) 2) ()内の前回は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」(2020年12月期見通し)

(単位: %ポイント)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」-「悪化」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「不足」-「過剰」
名古屋	▲22.2 ↓	▲22.2 ↓	▲5.6 ↓	▲27.8 ↓	▲33.3 ↓	▲16.7 ↓	▲22.2 ↓
東尾張	▲11.1 ↓	▲14.8 ↓	▲11.1 ↓	▲11.1 ↓	▲37.0 ↓	7.4 ↑	0.0 ⇐
西尾張	▲37.5 ↓	▲37.5 ↓	▲25.0 ↓	▲37.5 ↓	▲37.5 ↓	▲12.5 ↓	▲6.3 ↓
西三河	25.0 ↑	▲25.0 ↓	25.0 ↑	0.0 ⇐	▲25.0 ↓	▲25.0 ↓	0.0 ⇐
東三河	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	40.0 ↑	▲20.0 ↓	0.0 ⇐
岐阜	▲42.2 ↓	▲20.0 ↓	▲24.4 ↓	▲28.9 ↓	▲51.1 ↓	13.3 ↑	▲15.6 ↓
西濃	▲37.9 ↓	▲3.4 ↓	▲20.7 ↓	▲10.3 ↓	▲37.9 ↓	▲3.4 ↓	▲10.3 ↓
東濃・可茂	▲44.4 ↓	▲11.1 ↓	0.0 ⇐	▲11.1 ↓	▲33.3 ↓	▲22.2 ↓	▲22.2 ↓
飛騨・郡上	▲33.3 ↓	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	▲66.7 ↓	0.0 ⇐	▲33.3 ↓
桑名・四日市	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	▲25.0 ↓	0.0 ⇐
愛知県(5地域)	▲14.9 ↓	▲21.6 ↓	▲8.1 ↓	▲18.9 ↓	▲29.7 ↓	▲8.1 ↓	▲6.8 ↓
岐阜県(4地域)	▲40.8 ↓	▲12.2 ↓	▲17.3 ↓	▲18.4 ↓	▲44.9 ↓	1.0 ↑	▲16.3 ↓
三重(1地域)	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	▲25.0 ↓	0.0 ⇐
全地域	▲28.3 ↓	▲15.6 ↓	▲12.8 ↓	▲17.8 ↓	▲36.7 ↓	▲3.9 ↓	▲11.7 ↓

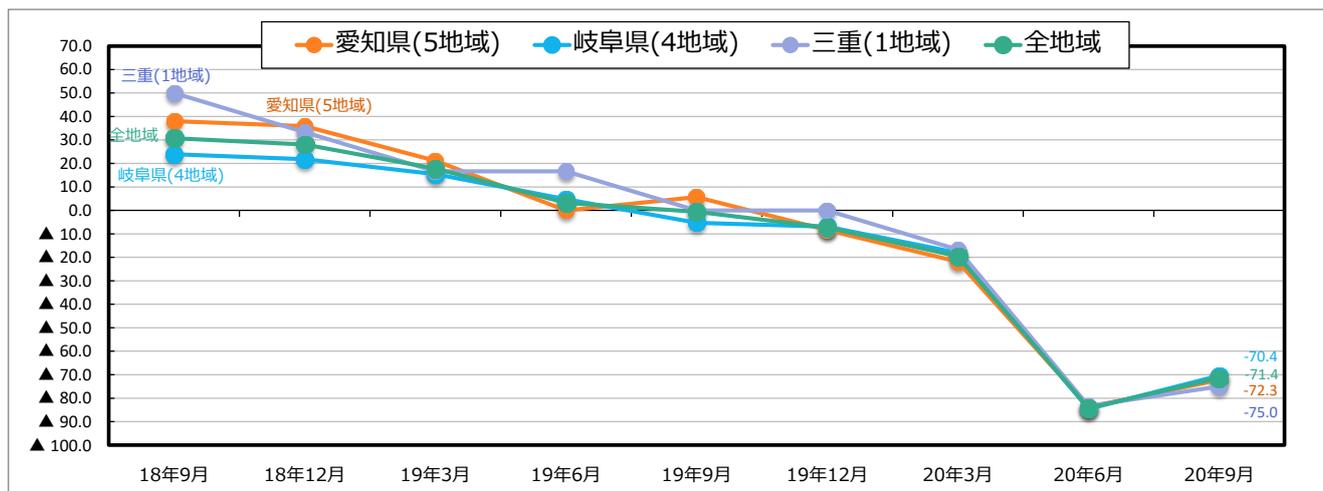
(*) 景気全般は、3ヵ月後には景気が今より「良くなりそう」と回答した割合(%) - 「悪くなりそう」と回答した割合(%)

他の6項目は、3ヵ月後には今より「増えそう(不足しそう)」と回答した割合(%) - 「減りそう(過剰となりそう)」と回答した割合(%)

「景気の水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

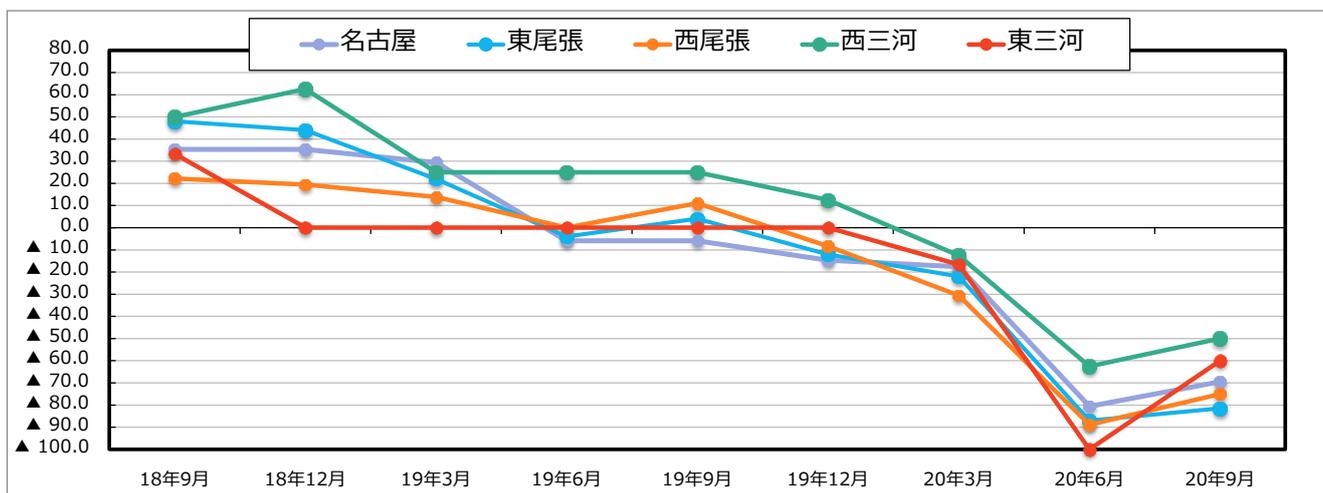
「景気の水準」の推移

■ 県別

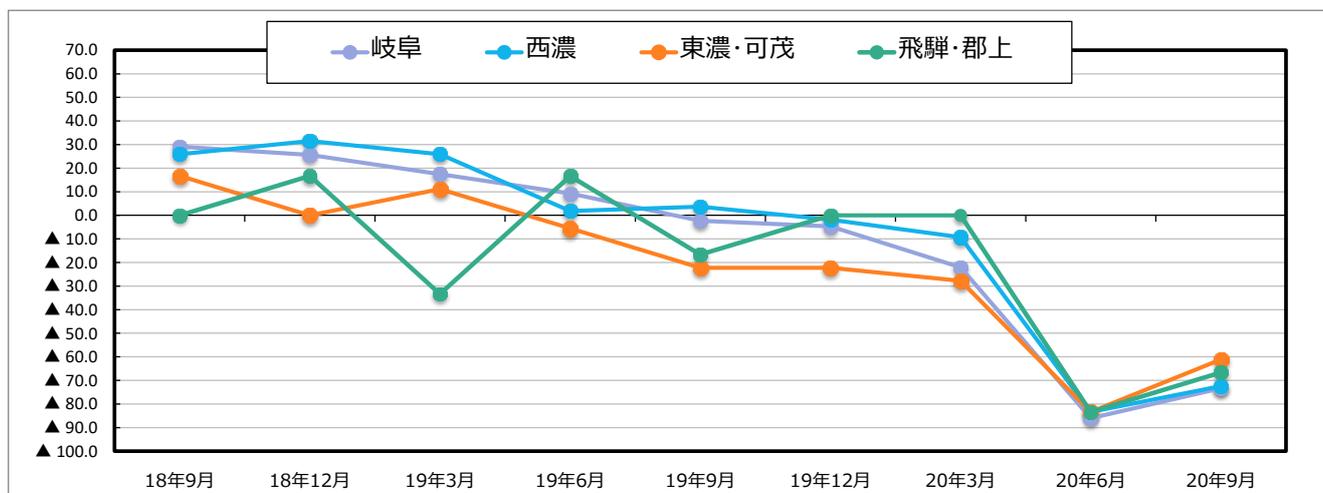


■ 地域別

① 愛知県内



② 岐阜県内



追加調査

「新型コロナウイルスによる地域経済への影響」

地域経済への新型コロナウイルスによる影響を観測するため、6 月期調査より、景況調査の各項目への「新型コロナ感染症による影響」について尋ねている。地域の景況感に対する新型コロナの影響について、県別・項目別に見ていきたい。

影響度の指数化について

※指数はOKB景況指数の算出同様、各項目の回答に表のポイントを付与、支店の規模によるウェイト調整を行ったうえで算出している。全支店長が「極めて大きい」と回答した場合は最高点の4、全支店長が「影響はない」と回答した場合は最低点の0となる。

調査項目への新型コロナの影響の大きさ	付与ポイントA
影響はない	0ポイント
ややある	1ポイント
かなりある	2ポイント
非常に大きい	3ポイント
極めて大きい	4ポイント

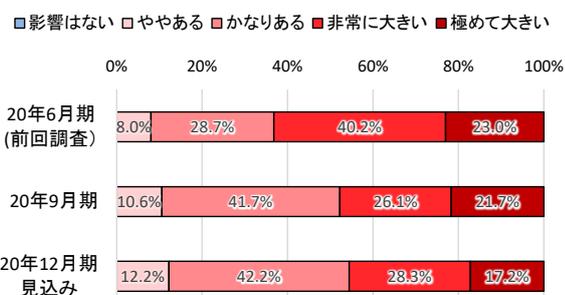
(1) 新型コロナによる地域経済への影響は、「極めて大きい」が21.7%、「非常に大きい」が26.1%。

景況調査の各項目への「新型コロナによる影響」について尋ねたところ、景気全般では「極めて大きい」が21.7%、「非常に大きい」が26.1%、「かなりある」が41.7%、「ややある」が10.6%、「影響はない」の回答はゼロだった。前回(6月期)調査では「非常に大きい」の回答割合が最も大きかったが、今回調査では「かなりある」が最も大きくなった。

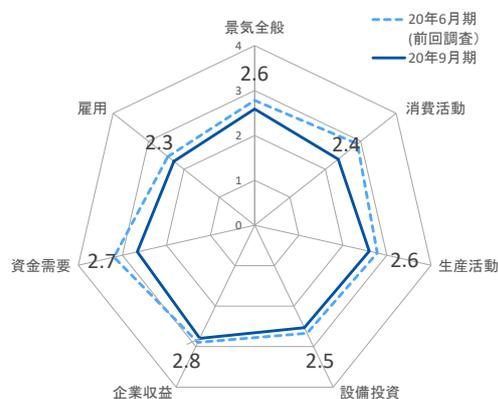
各項目における影響の大きさを指数化したところ、景気全般の影響度指数は2.6、前回比▲0.2となるなど、全項目において緊急事態宣言中に実施した6月期調査からやや低下した。

ただ、3ヵ月後の見通しについて、各調査項目への「新型コロナによる影響」は、今回調査の回答割合と同程度となっており、新型コロナによる経済活動への影響が大きく改善することは見込まれていない。

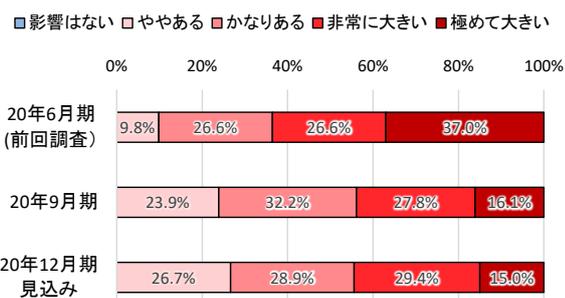
・新型コロナの影響について (全地域・景気全般)



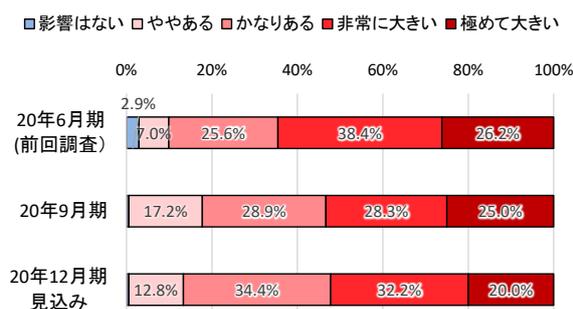
・新型コロナの影響度指数 (全地域・各項目)



・新型コロナの影響について (全地域・消費活動)



・新型コロナの影響について (全地域・生産活動)



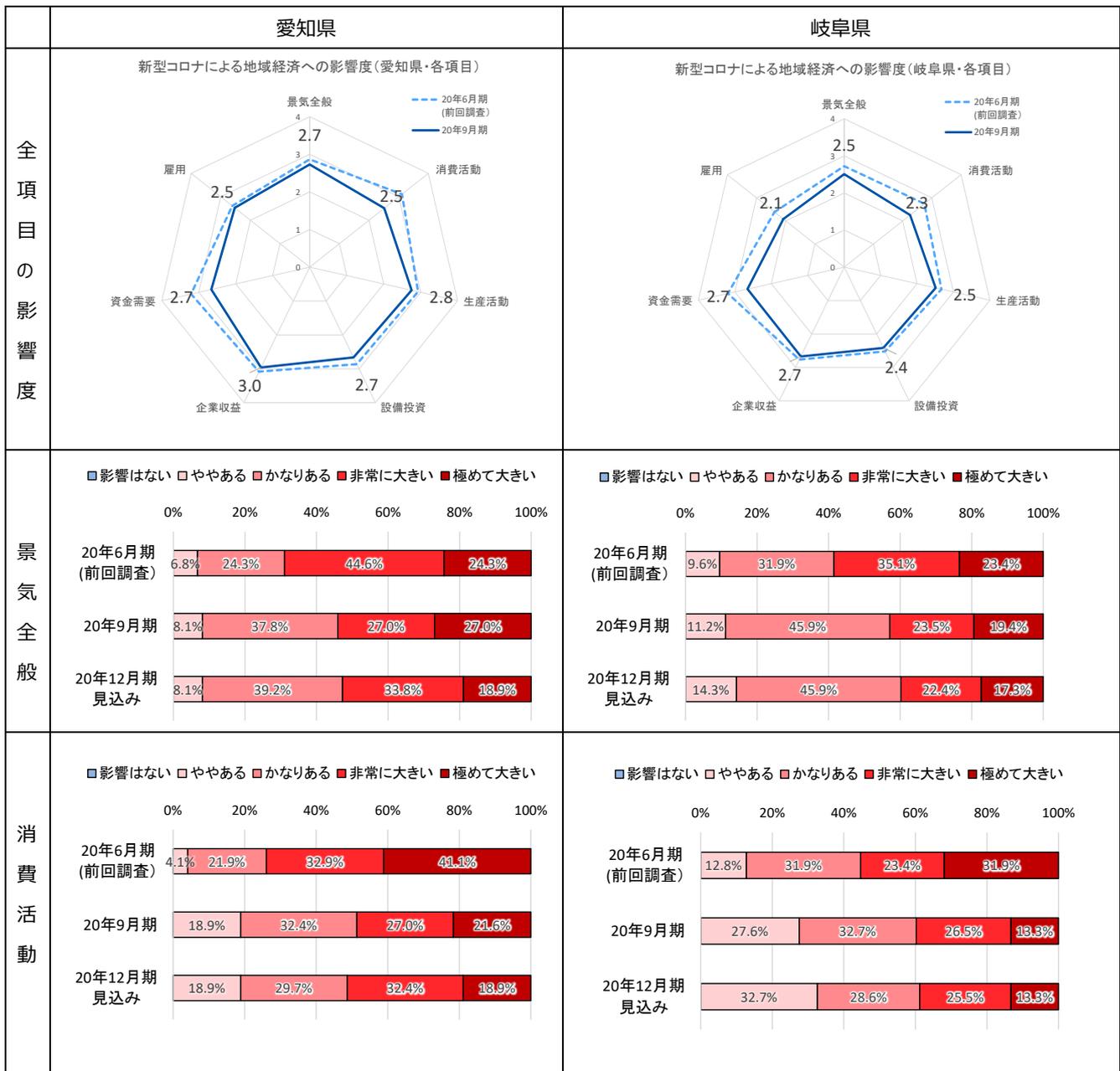
(2) 愛知県、岐阜県とも新型コロナによる景気全般への影響度はやや低下。影響が「極めて大きい」、「非常に大きい」の回答を合わせると、愛知県 55.9%、岐阜県 43.8%となった。愛知県では、「景気全般」、「生産活動」で影響が「極めて大きい」の回答が前回から増加。

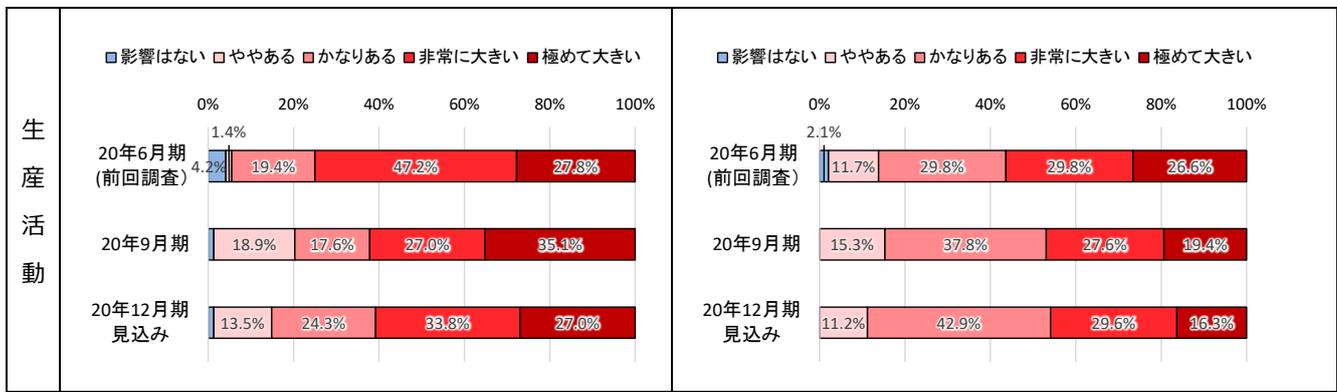
県別に新型コロナの影響度をみると、「景気全般」に対する影響度は、愛知県が2.7、岐阜県が2.5と、両県とも影響度は前回調査からやや低下。項目別では、9月期調査で6月期調査と比べ、両県ともすべての項目で影響度がやや低下している。特に、前回との差が大きい項目は「個人消費」、「資金需要」となっている。両項目については、OKB景況指数においても、前回調査時から「消費活動」は大きくプラス、「資金需要」は大きくマイナスとなっており、新型コロナの影響による消費活動の停滞や、資金需要の増加は、緊急事態宣言中に実施した前回調査に比しやや落ち着いたものと思われる。

内訳をみると、「景気全般」への影響について「極めて大きい」、「非常に大きい」の回答を合わせると、愛知県 54.0%、岐阜県 42.9%と、愛知県が大きい。特に、両県の差が見られたのは、「生産活動」での「極めて大きい」の回答割合で、岐阜県では19.4%（前回比▲7.2ポイント）となったものの、愛知県では35.1%（前回比+7.3%）と前回から増加した。「生産活動」の影響から、愛知県では「景気全般」についても「極めて大きい」が前回よりも増加しているものと思われる。

一方で、「消費活動」での影響については、「極めて大きい」が、愛知県 21.6%（前回比▲19.5ポイント）、岐阜県 13.3%（前回比▲18.6ポイント）と前回から大きく低下した。

・新型コロナの影響について（県別・項目別）

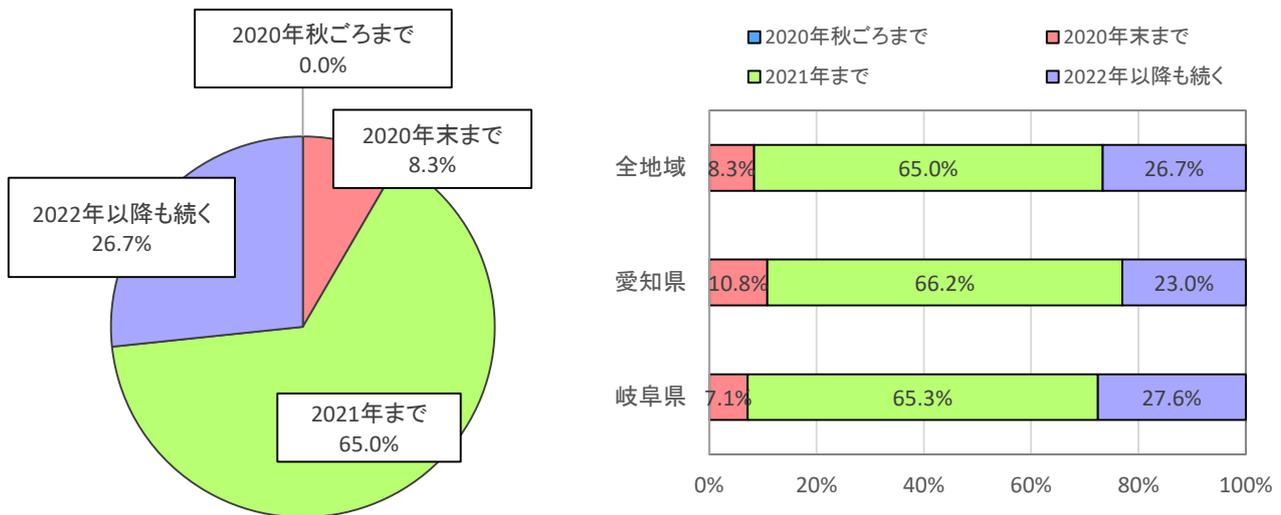




(3) 地域経済への新型コロナの影響は、「2021 年も続く」と9割超が回答。経済活動の正常化には時間がかかる見通し。

新型コロナによる地域の経済問題はどの程度続くとみているかを尋ねたところ、「2021 年まで」が 65.0%と最も多く、「2022 年以降も続く」も 26.7%、一方で、「2020 年末まで」と年内だとする回答は 8.3%にとどまった。多くの支店長は、新型コロナによる地域の経済問題が長期化すると想定している。

・新型コロナによる地域の経済問題はどの程度続くとみているか



以上